

業務用建物床面積の推移

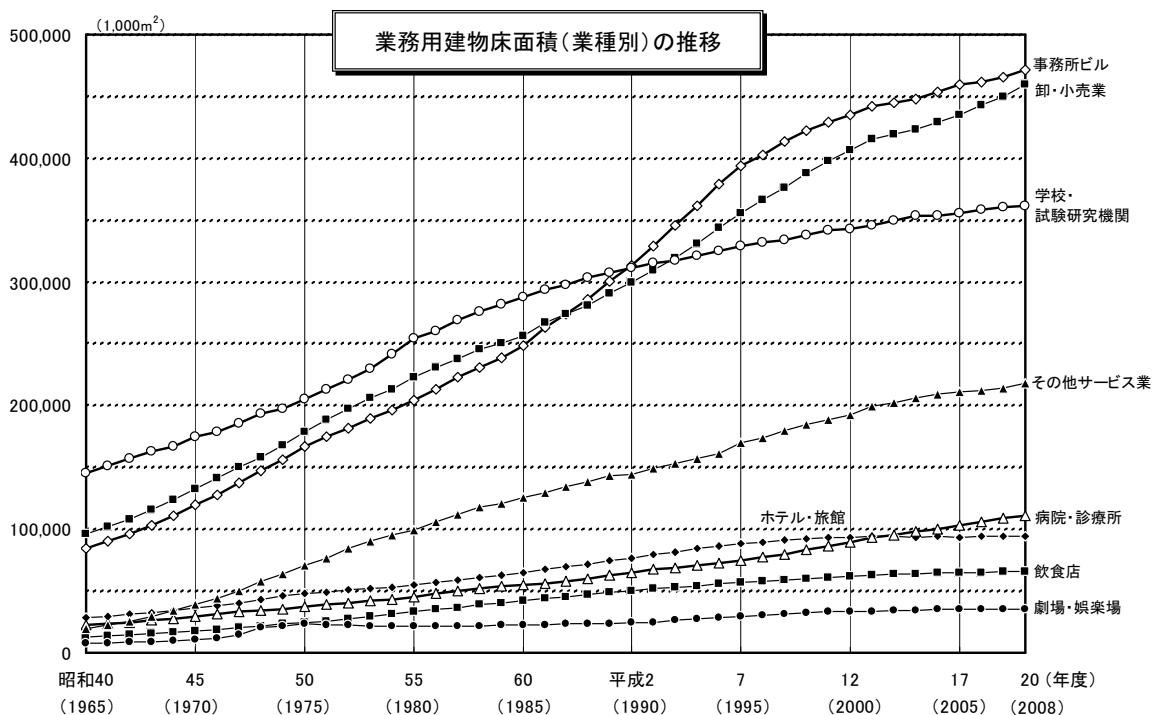
平成 20 年度の業務用建物床面積は 18 億 1,740 万㎡と推計された。伸び率は平成 19 年度を上回る前年度比 1.3%増となった。

「事務所ビル」の床面積は 4 億 7,149 万㎡で、業務用建物床面積のうち最も高い構成比 25.9%を占める。伸び率は前年度比 1.2%増となり、前年度（同 0.9%増）を上回った。事務所ビル全体の約 8 割を占める事務所・銀行（非木造）の床面積は、前年度比 1.4%増とこの業種の中で最も高い伸び率となり堅調に推移している。

「卸・小売業」の床面積は 4 億 5,975 万㎡で、全体の 25.3%を占める。伸び率は前年度比 2.3%増で前年度（同 1.5%増）を上回った。内訳を見ると、卸・小売業の約 8 割を占める非木造の店舗は、同 2.9%増と前年度（同 2.0%増）を上回り堅調に推移している。一方で、木造は併用住宅、店舗ともにここ数年の傾向どおり、伸び率はそれぞれマイナス（同 1.7%減）、横ばい（同 0.1%増）となった。

「学校・試験研究機関」の床面積は 3 億 6,100 万㎡で、全体の 19.9%を占める。伸び率は前年度比 0.1%増と前年度（同 0.6%増）を下回った。内訳を見ると、保育所が前年度比 1.8%増、大学が前年度比 1.7%増とこの業種の中では堅調に増加している。一方、短期大学の減少傾向（同 6.3%減）が続くとともに、高等学校（同 0.5%減）、その他学校（同 3.5%減）、試験研究機関（国有等）（同 0.8%減）の伸び率がマイナスに転じた。

その他の 5 業種では、「病院・診療所」の伸び率は前年度比 2.3%増、「その他サービス業」は同 1.6%増と堅調な増加を続けている。一方で「飲食店」は同 0.6%増、「ホテル・旅館」は同 0.3%増、「劇場・娯楽場」は同 0.9%増と低い伸びとなった。



トピック

